

平成25年台風27号・前線による豪雨と 管内の出水状況について

平成25年台風27号と前線の影響により、四国地方では集中的な豪雨に見舞われました。四国山地砂防事務所管内においても、10月24日から25日にかけて集中的な降雨を観測し、吉野川上流域の鎌藪谷観測所では25日16時までに累計雨量535mmを観測しましたが、管内で大規模な土砂災害発生はありませんでした。今回の出水状況と砂防設備・地すべり防止施設の状況をとりとまとめましたので報告します。

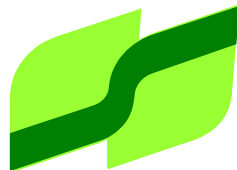
平成25年10月28日
国土交通省 四国地方整備局
四国山地砂防事務所

問い合わせ先
国土交通省四国地方整備局
四国山地砂防事務所
技術副所長 川西 浩二
調査課長 大谷 正彦
TEL 0883-72-0034

平成25年10月28日
四国山地砂防事務所

平成25年台風27号・前線による豪雨と 管内の出水状況について

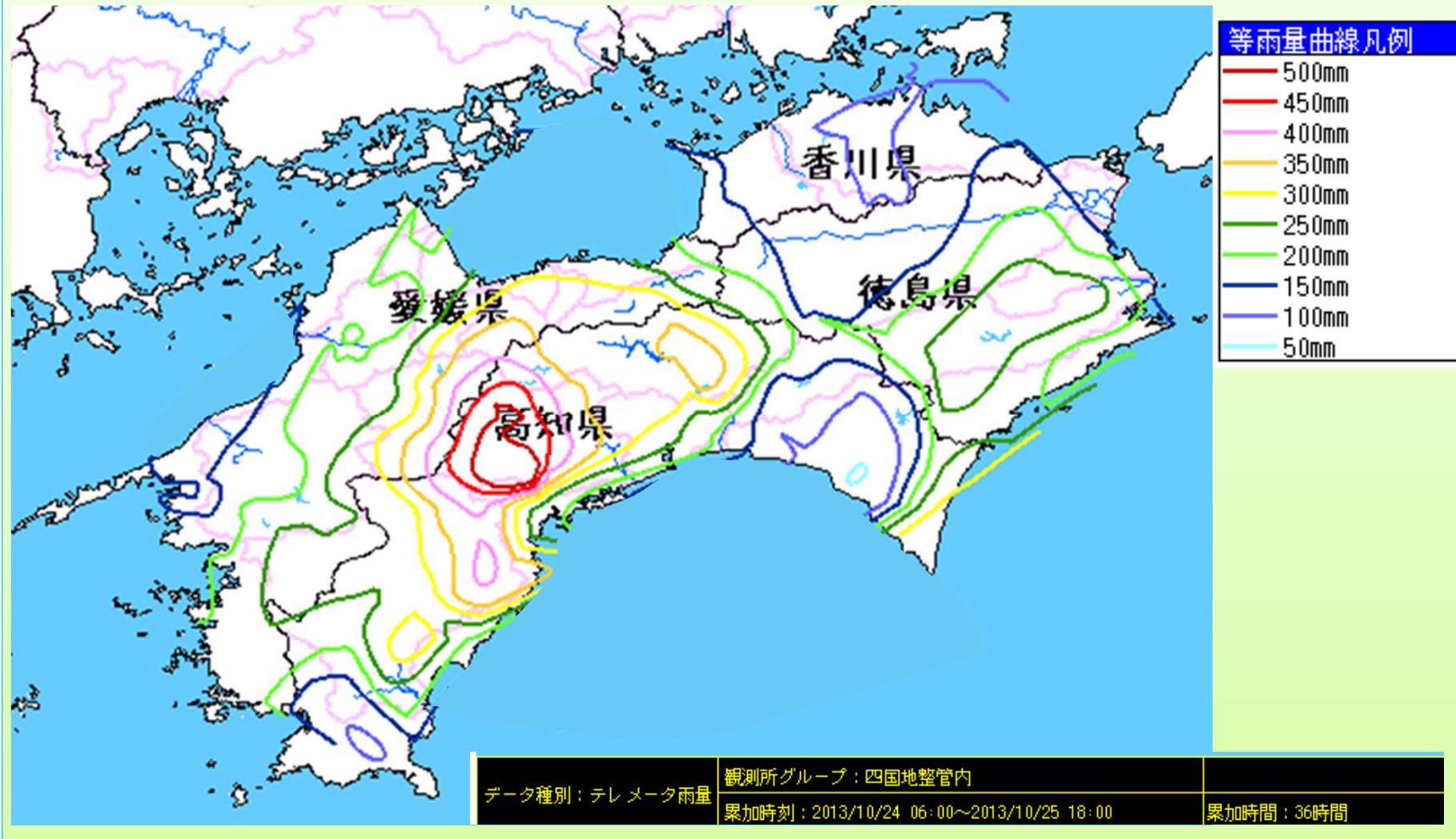
平成25年台風27号と前線の影響により、四国地方では集中的な豪雨に見舞われました。四国山地砂防事務所管内においても、10月24日から25日にかけて集中的な降雨を観測し、吉野川上流域の鎌藪谷観測所では25日16時まで累計雨量535mmを観測しましたが、管内で大規模な土砂災害発生はありませんでした。今回の出水状況と砂防設備・地すべり防止施設の状況を取りまとめましたので報告します。



大きな安全ー山系四国
四国山地砂防事務所

平成25年台風27号・前線による出水状況(速報値)

等雨量線図：四国全域で大雨となりました。



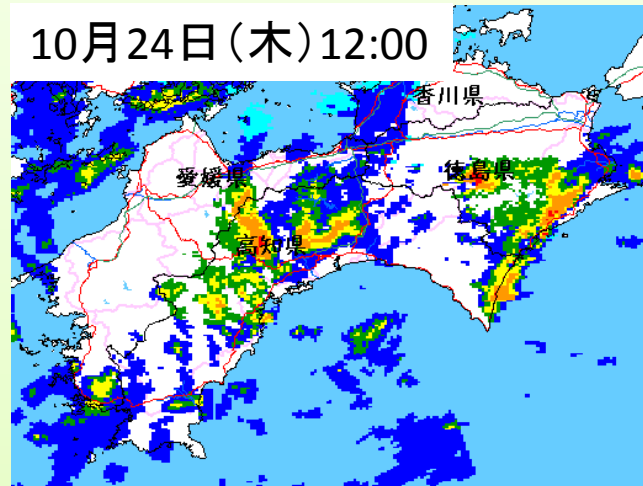
平成25年台風27号・前線による出水状況

レーダー雨量：24日から雨が強まり、25日には雨域が四国全域を覆いました。

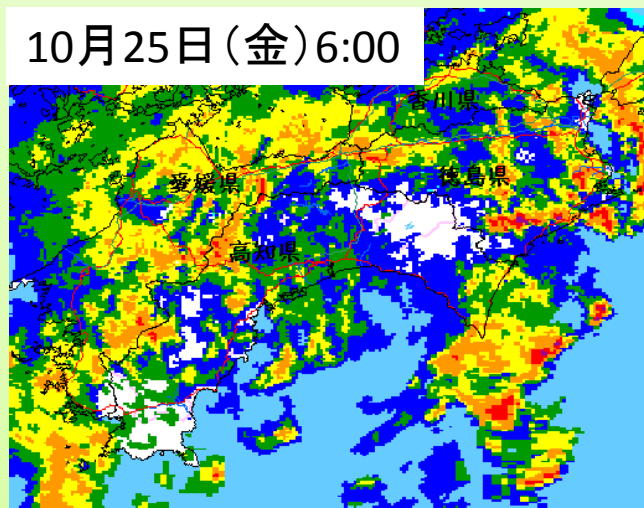
10月24日(木)6:00



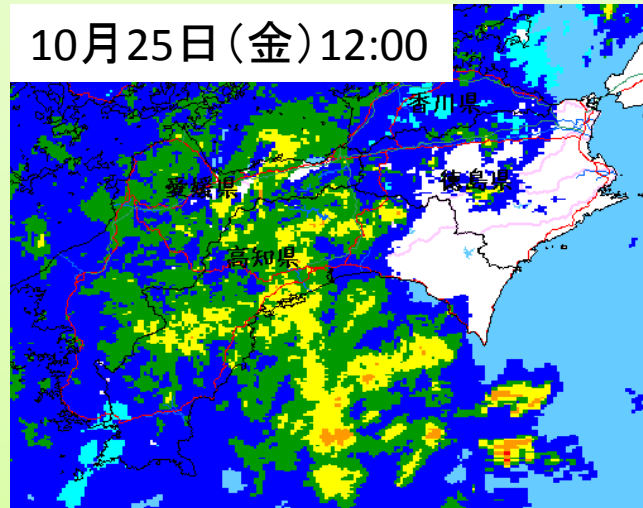
10月24日(木)12:00



10月25日(金)6:00



10月25日(金)12:00



雨量凡例

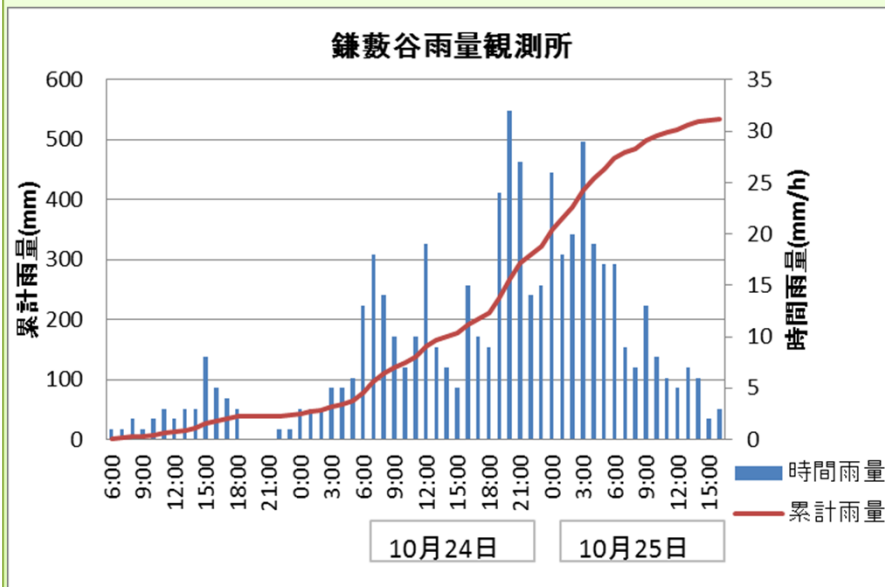
■	100mm/h~
■	~100mm/h
■	~50mm/h
■	~20mm/h
■	~10mm/h
■	~5mm/h
■	~1mm/h
□	0mm/h
■	欠測



平成25年台風27号・前線による出水時の砂防設備の効果 (吉野川上流域)

降雨の状況

四国山地砂防事務所鎌藪谷雨量観測所
(高知県吾川郡いの町寺川字土居)



* 雨量は国土交通省「川の防災情報」のデータを元に作成したもので、累計雨量については降り始めからの累計です。

出水状況

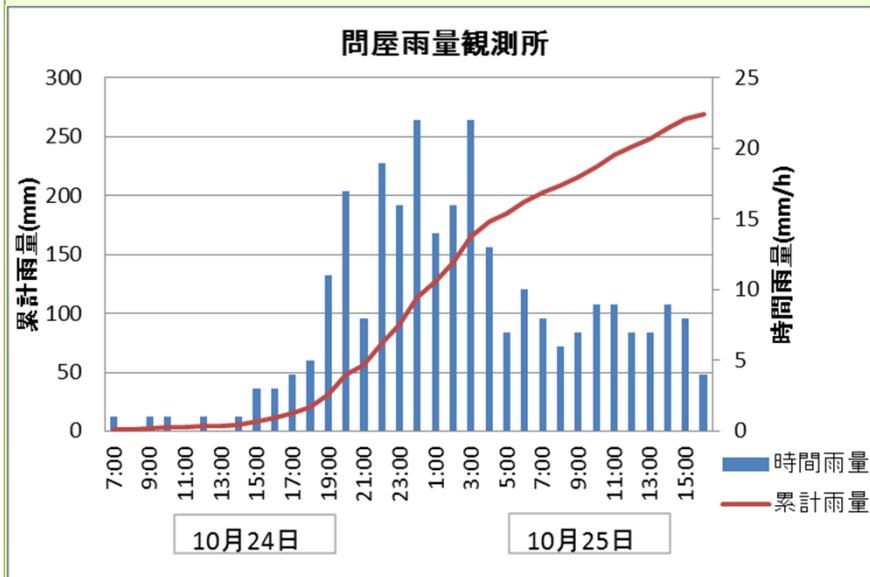
砂防設備を設置した溪流での土砂の異常流出はありませんでした。



平成25年台風27号・前線による出水時の砂防設備の効果 (重信川流域)

降雨の状況

四国山地砂防事務所問屋雨量観測所
(愛媛県東温市河之内字問屋)



* 雨量は国土交通省「川の防災情報」のデータを元に作成したもので、累計雨量については降り始めからの累計です。

出水状況(東温市高智谷)



砂防設備の効果(東温市根無谷)



溪流保全工が効果を発揮し、流水による浸食を防ぎ、安全に流下させました。



平成25年台風27号・前線による出水時の 地すべり防止施設の効果

集水ボーリング
による集水状況



集水井外観

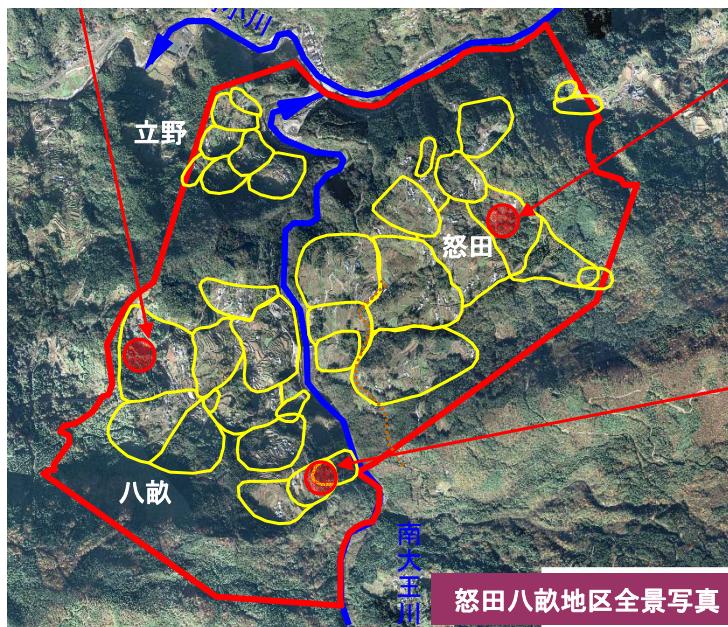


表面排水路による
流下状況



台風の大雨による地すべり発生を抑えるため、
地すべりの誘因となる地下水を排水しました。

降った雨を地下に浸透させないように流し、
地すべりが不安定になることを防止しました。



怒田八畝地区全景写真

横ボーリングに
よる排水状況



比較的浅いところの地下水を抜いています。

過去の土砂災害発生時の状況と 今回の台風27号・前線降雨との比較(参考)



平成16年8月台風15号による降雨の影響で、吉野川上流域において複数箇所では土石流が発生



平成11年9月台風16号による降雨の影響で、重信川上流域において複数箇所では土石流が発生

